

約2年ぶりに、沼津市主催の『芹沢光治良文学講演会』が開催されます。

講師は、北村暁子さん。出版社の新潮社で、ながく文学書の編集者としてご活躍になり、芹沢光治良作品の刊行でも中心的な役割を果たされました。

みなさまご存知のように「新潮社」は、廉価で持ち運び便利な「文庫本」の出版で百年をこえる歴史を誇る、いわば「文庫本の老舗」です。古沢岩美の描くパリの街（『巴里に死す』）や、丹阿弥丹波子の銅版画（『愛と知と悲しみ』）がカバーの新潮文庫をお持ちの方も多いでしょう。

北村暁子さんには、編集者として至近距離で見た「作家・芹沢光治良の魅力」、また「素顔の芹沢光治良」など、貴重なエピソードを伺うのを楽しみにしています。

開催予定日ごろ、沼津や我入道の森も秋の色が濃くなり、芹沢作品を読み返したくなっているだろうと思います。

どうか、ご予約をお繰り合わせいただき、ご参加くださるよう、ご案内申し上げます。

沼津市主催 『芹沢光治良文学講演会』

日時・11月16日（土） 13時30分～15時30分

場所・沼津市立図書館視聴覚ホール

申込・9月10日以降、沼津市芹沢光治良記念館で受付（開館日の9:00から17:00）

電話：[055-932-0255](tel:055-932-0255) / kojiro@city.numazu.lg.jp

交通、昼食などの問合せ・「沼津芹沢光治良文学愛好会」でお受けします。

不破久温：090-6023-5629、芹沢光治：090-7855-4229 まで。（24時間いつでも。）